

第10次岩手県職業能力開発計画の進捗状況

資料3

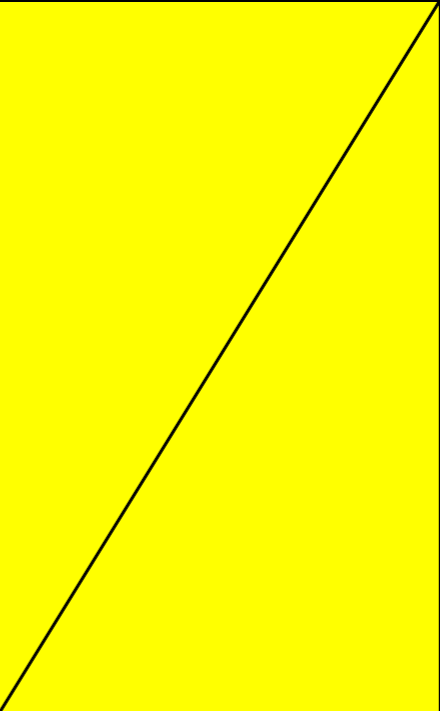
職業能力開発の基本的施策		進捗状況						
1 生産性向上に向けた人材育成の強化		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度	平成30年度実績が平成29年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	令和元年度	令和2年度	
(1) IT人材育成の強化・加速化	① 人材開発支援助成金制度（H29.3.31まで「キャリア形成促進助成金」）の活用の促進 [国]	・岩手県地域ジョブ・カードセンター（盛岡商工会議所）にて、雇用型訓練に係る助成制度（キャリア形成促進助成金を含む。）について関係機関に対しての助言・支援を計画 ・労働保険事業主説明会、算定基礎届事務説明会、改正育児介護休業法説明会等にて、事業主等に対し本助成金を周知・説明	・岩手県地域ジョブ・カードセンター（盛岡商工会議所）にて、雇用型訓練に係る助成制度（キャリア形成促進助成金を含む。）について関係機関に対しての助言・支援を計画 ・労働保険事業主説明会、算定基礎届事務説明会、改正育児介護休業法説明会等にて、事業主等に対し本助成金を周知・説明 ・人材開発支援助成金受理件数 404件[前年同期比12.2%増]	・岩手県地域ジョブ・カードセンター（盛岡商工会議所）にて、雇用型訓練に係る助成制度（キャリア形成促進助成金を含む。）について関係機関に対しての助言・支援を計画 ・労働保険事業主説明会、算定基礎届事務説明会、改正育児介護休業法説明会、働き方改革関連法説明会等にて、事業主等に対し本助成金を周知・説明 (H31年3月末現在) ・人材開発支援助成金受理件数 448件[前年同期比5.4%増]	/			
	② IT分野における離職者等再就職訓練（委託訓練）の拡充の検討 [県]	・情報系分野の訓練の受講者数・就職率 受講者数202名 就職率77.3%	・情報系分野の訓練の受講者数・就職率 受講者数183名 就職率79.8%	・情報系分野の訓練の受講者数・就職率 受講者数169名（うち女性124名） 就職率87.4%（平成31年4月12日現在）		コース数、定員数ともH29とほぼ同数であったが、受講者数が減少した。ただし、就職率はH29を上回っており、訓練内容は妥当と判断されることから、受講希望者の増加に向けて求職者へのPRに注力する		
	③ IT分野における在職者訓練の拡充の検討 [県、認定職業訓練団体]	・情報系分野の訓練の受講者数 129名	・情報系分野の訓練の受講者数 166名	・情報系分野の訓練の受講者数 177名（うち女性99名）				
(2) 労働者の主体的なキャリア形成の推進	① キャリアコンサルティングの計画的な実施 [国]	・岩手県地域ジョブ・カードセンターや地域ジョブ・カードサポートセンターによるキャリアコンサルティングの実施数： 90人	・岩手県地域ジョブ・カードセンターや地域ジョブ・カードサポートセンターによるキャリアコンサルティングの実施数： 99人	・岩手県地域ジョブ・カードセンターや地域ジョブ・カードサポートセンターによるキャリアコンサルティングの実施数： (12月末) 26人 (前年同月89人)	同センターは主に雇用型訓練を実施する企業のキャリアコンサルティングを担っており、雇用型訓練の実施企業の多くは関係する助成金の申請を目標としているところ、助成金の支給要件が厳格化（講師の経験年数が5年から10年に変更、所定労働時間外の訓練の除外等）された影響から雇用型訓練を実施する企業が減少し、1企業当たりの対象労働者数も1～2名程度の小規模申請が占める割合が多くなり、全般的に対象労働者が減少したため、同センターに対するコンサルティングの需要も減少し、実施数の大幅な減少となったと推測される。 助成金にかかわらず雇用型訓練の有効性を訴え、雇用型訓練実施企業の理解を得ていきたい。			
	② ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの推進 [国]	・第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議（10/28）にて、新ジョブ・カード制度に係る岩手県地域推進計画について協議	・第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議（10/30）にて、新ジョブ・カード制度に係る岩手県地域推進計画について協議 ・岩手大学でキャリア支援を行っているカウンセラーと新ジョブ・カード制度の運用について、勉強会を実施（12/22）	・第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議（11/2）にて、新ジョブ・カード制度に係る岩手県地域推進計画について協議				
	③ 訓練指導員のカウンセリング研修等の実施 [国]	・ジョブ・カード講習受講によるジョブ・カード作成アドバイザーを配置 ・8/18 1名受講 ・1/19 5名受講 (平成29年4月現在、26名のジョブ・カード作成アドバイザーを配置)	・ジョブ・カード講習受講によるジョブ・カード作成アドバイザーを配置 ・8/8 3名受講 ・12/15 5名受講 (平成30年4月現在、32名のジョブ・カード作成アドバイザーを配置)	・ジョブ・カード講習受講によるジョブ・カード作成アドバイザーを配置 ・平成30年度新規受講者0名 (平成31年4月現在、32名のジョブ・カード作成アドバイザーを配置)		ジョブ・カード講習事業については平成31年3月31日で終了したことから、平成29年度までに受講を済ませていたもの。		

(3) 企業・業界における人材育成の強化	① 認定職業訓練の効果的な活用の推進 [県]	・長期訓練修了161名 ・短期訓練修了1,982名	・長期訓練修了138名 ・短期訓練修了1,979名	・長期訓練修了118名 ・短期訓練修了2,099名	企業の人手不足のため、従業員を長期訓練へ派遣する余裕がないことにより長期訓練受講者が減少したと思われる。短期訓練については昨年度より増加した。			
	② 在職者訓練の実施 [県]	・産業技術短期大学校本校、産業技術短期大学校水沢校（県南地区、気仙地区）、宮古高等技術専門学校、二戸高等技術専門学校（久慈地区、二戸地区）の6箇所を実施 修了者数 1,810人	・産業技術短期大学校本校、産業技術短期大学校水沢校（県南地区、気仙地区）、宮古高等技術専門学校、二戸高等技術専門学校（久慈地区、二戸地区）の6箇所を実施 修了者数 1,933人	・産業技術短期大学校本校、産業技術短期大学校水沢校（県南地区、気仙地区）、宮古高等技術専門学校、二戸高等技術専門学校（久慈地区、二戸地区）の6箇所を実施 修了者数 1,920人	ニーズ調査の結果実施することとしたコースにおいて、業務都合により参加できなくなったコースがあった他、当初の見込みに比べ受講者を確保できなかったコースがあったため。			
	③ ニーズに即したオーダーメイドによる在職者訓練の実施 [県]	・産業技術専攻科入校生：7名（うち企業派遣2名） ・能力開発セミナー（オーダーメイド）について、企業へ利用促進を周知中	・産業技術専攻科入校生：3名（うち企業派遣2名） ・能力開発セミナー（オーダーメイド）について、企業へ利用促進を周知中	・産業技術専攻科入校生：4名（うち女性0名）（うち企業派遣2名） ・能力開発セミナー（オーダーメイド）について、企業へ利用促進を周知中				
	④ 職業能力開発施設の訓練指導員の企業派遣 [機構・県]	[県] 企業へ利用促進を周知中 [機構] 指導員派遣：26人	[県] 企業へ利用促進を周知中 [機構] 指導員派遣：32人	[県] 企業へ利用促進を周知中 [機構] 指導員派遣：30人	実数で2名減ってはいるが、実績としては例年通り。			

目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満

【目標】項目	H32年度 (計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	達成度
情報系分野の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率	200人	202人	183人	169			B
	80.0%	80.0%	82.3%	87.4% (平成31年4月12日現在)			A

2 「全員参加の社会の実現加速」に向けた女性・若者・中高年齢者・障がい者等の個々の特性やニーズに応じた職業能力底上げの推進	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度	平成30年度実績が平成29年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	令和元年度	令和2年度
(1) 女性の活躍促進に向けた職業能力開発	<p>① 離職者等再就職訓練における「育児等と両立しやすい短時間訓練コース」の設定及び託児サービス付き訓練コースの拡充 [県]</p> <p>「育児等と両立しやすい短時間訓練コース」 ・1コース 定員15名にて訓練を設定したが、応募者少数により中止 [理由等] 年度後半からの新規導入であったため、求職者へ制度が十分浸透していなかった。 なお、H29は、年度当初から設定しており、1コース受講者15名で実施中である。</p> <p>「託児サービス付き訓練コース」 ・定員18名 受講者数5名</p>	<p>「育児等と両立しやすい短時間訓練コース」 ・1コース 受講者15名で実施</p> <p>「託児サービス付き訓練コース」 ・定員18名 受講者数2名</p>	<p>「育児等と両立しやすい短時間訓練コース」 ・1コース 受講者15名で実施</p> <p>「託児サービス付き訓練コース」 ・定員14名 受講者数6名</p>	/		
② マザーズコーナー等での就業相談、職業あっせんの実施 [ハローワーク]	<p>・就職支援対象開始者数 1,193人 ・就職支援対象者就職件数 1,117人 ・就職支援対象者就職率 93.3%</p>	<p>(H30年3月末現在) ・就職支援対象開始者数 1,220人 ・就職支援対象者就職件数 1,132人 ・就職支援対象者就職率 92.8%</p>	<p>(H31年3月末現在) ・就職支援対象開始者数 1,167人 ・就職支援対象者就職件数 1,107人 ・就職支援対象者就職率 94.9%</p>	求職者が減少傾向にある中、対象者数及び就職件数とも減少したが、就職率は上昇した。		
③ 母子家庭の母等への就業相談・就業支援等の実施 [県]	<p>・県保健福祉部、岩手労働局(マザーズコーナー)等と連携を図り、母子家庭の母等に対し、保健福祉部で実施する相談員による就業支援やセミナー、研修会の情報を周知するとともに、マザーズコーナーによる支援について案内した。 ・就職を希望する離職者等に対しては職業訓練について紹介した。</p>	<p>・県保健福祉部、岩手労働局(マザーズコーナー)等と連携を図り、母子家庭の母等に対し、保健福祉部で実施する相談員による就業支援やセミナー、研修会の情報を周知するとともに、マザーズコーナーによる支援について案内した。 ・就職を希望する離職者等に対しては職業訓練について紹介した。</p>	<p>・県保健福祉部、岩手労働局(マザーズコーナー)等と連携を図り、母子家庭の母等に対し、保健福祉部で実施する相談員による就業支援やセミナー、研修会の情報を周知するとともに、マザーズコーナーによる支援について案内した。 ・就職を希望する離職者等に対しては職業訓練について紹介した。</p>	/		
④ 母子家庭の母等の職業的自立促進事業による委託訓練の実施 [県]	<p>・定員35名 受講者数5名 就職率100.0%</p>	<p>・定員18名 受講者数6名 就職率100.0% (平成30年5月11日現在)</p>	<p>・定員75名 受講者数6名 就職率100.0% (H31.4.12現在)</p>	/		
⑤ 女性就業援助事業(技術講習)の実施 [県]	<p>・定員105名 受講者数59名 就職率43.1%</p>	<p>・定員90名 受講者数60名 就職率48.1%</p>	<p>・定員135名 受講者数94名 就職率50.0%</p>	/		

<p>(2) 若者の職業能力開発</p>	<p>① 小中学校及び高校におけるキャリア教育の取組支援【県】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的キャリア教育研修会(盛岡・中部・県南・沿岸南部・宮古教育事務所)の開催 (※H28～H30の3年間悉皆により研修、H29は県北教育事務所も開催予定) ・いわてキャリア教育実践研修講座(総合教育センター) [小中各12校高13名計37名が参加×2回実施] ・県の機関における高校生インターンシップの実施 [6公所にて8校10名が実施] ・学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業の実施(専門高校におけるキャリア教育の推進の支援) [26校34学科にて実施] 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的キャリア教育研修会(盛岡・中部・県南・沿岸南部・宮古・県北教育事務所)の開催 ・いわてキャリア教育実践研修講座(総合教育センター) [小中各12校, 高7名計31名が参加×2回実施] ・県の機関における高校生インターンシップの実施 [12公所で8校17名が実施] ・学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業の実施(内陸部の専門高校等におけるキャリア教育の推進の支援) [15校35学科で実施] ・県立学校復興担い手育成支援事業(就職等支援)の実施(沿岸部の専門高校等におけるキャリア教育の推進の支援) [17校30学科で実施] ・いわて未来創造人サポート事業の実施(内陸部の普通高校等におけるキャリア教育の推進の支援) [17校17学科で実施] 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的キャリア教育研修会(盛岡・中部・県南・県北教育事務所)の開催 ・いわてキャリア教育実践研修講座(総合教育センター) [小15名, 中8名, 高7名, 特支5名計35名が参加×2回実施] ・県の機関における高校生インターンシップの実施 [13公所で8校21名が実施] ・いわて地域担い手育成支援事業の実施(内陸部の専門高校等におけるキャリア教育の推進の支援) [32校67学科で実施] ・県立学校復興担い手育成支援事業(就職等支援)の実施(沿岸部の専門高校等におけるキャリア教育の推進の支援) [15校31学科で実施] 			
	<p>② 大学におけるキャリア教育の取組【各大学】</p>	<p>〔岩手県立大学〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文科省の大学教育再生加速プログラム(旧産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の拡充)での取組を継承した「東北インターンシップ推進コミュニティ」の幹事として自学のインターンシップの拡大と質を向上させるとともに、連携事業も充実させた。 ・岩手大学との共催で、「地場産業・企業研究」を開講のほか、全学のキャリア教育科目「人間と職業」や学部専門科目「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」などを開講。 ・IPU就業サポーター企業の協力により、企業見学会を実施し、学生127名が参加。(盛岡短期大学部では全員参加の事業とした。) ・IPU-Eプロジェクトを実施し、学生の就業力育成を支援。 ・キャリアガイダンスを12回実施し、学生2,186名が参加。 ・COC+事業の一環として他大学と連携しバスツアーを5回実施。 ・就業力の育成度合いを測る自己評価ツール(Eマップ、就業力自己評価シート)の運用と客観評価テスト(PROGテスト)の実施。 	<p>〔岩手県立大学〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き大学連携のインターンシップ推進組織「東北インターンシップ推進コミュニティ」を運営。インターンシップin東北をプラットフォームとした大学連携のインターンシップを実施。夏季、春季併せて172名の学生が参加。より良いプログラム作りのための企業向けセミナーや、学生の事前事後学習も充実させた。また、参加教育機関及び企業の拡大を目指し、東北経済連合会との連携も開始した。 ・岩手大学との共催で、「地場産業・企業研究」を開講のほか、全学のキャリア教育科目「人間と職業」や学部専門科目「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」などを開講。 ・COC+事業の一環として他大学や自治体と連携してバスツアーを7回実施し、学生約40名が参加した。また、ふるさと発見大交流会を実施し、学生約400名が参加した。 ・Eプロジェクトを実施し、学生の就業力育成を支援。 ・キャリアガイダンスを19回実施し、学生2,170名が参加。 ・就業力の育成度合いを測る自己評価ツール(Eマップ、就業力自己評価シート)の運用と客観評価テスト(PROGテスト)の実施。 	<p>〔岩手県立大学〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き大学連携のインターンシップ推進組織「東北インターンシップ推進コミュニティ」を運営。インターンシップin東北をプラットフォームとした大学連携のインターンシップを実施。夏季、春季併せて121名の学生が参加。より良いプログラム作りのための企業向けセミナーや、学生とインターンシップ受入事業所の担当者が一堂に会して振り返りを行う事後学習・交流会を実施し、学生88名、事業所担当者29名が参加した。 ・岩手大学との共催で、「地場産業・企業研究」を開講のほか、全学のキャリア教育科目「人間と職業」や学部専門科目「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」などを開講。 ・COC+事業の一環として他大学や自治体と連携してバスツアーを8回実施し、学生約55名が参加した。また、ふるさと発見大交流会を実施し、学生約400名が参加した。 ・Eプロジェクトを実施し、学生の就業力育成を支援。 ・キャリアガイダンスを延べ22回)実施し、学生1,750名が参加。 ・就業力の育成度合いを測る自己評価ツール(Eマップ、就業力自己評価シート)の運用と客観評価テスト(PROGテスト)の実施。 ・低学年次生を対象とした業界研究セミナーを開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「インターンシップin東北」参加者の減少については、主な参加対象である3年生において、当サイトを通じた県内企業の5日間の教育的インターンシップでキャリアを学ぶことよりも、比較的大手の企業が就職支援サイト等を通じて実施する日数の短いプログラムに複数参加し効率的な情報収集を行うことに目が向いている可能性がある。このため、対策として、より低学年次生に向けた啓発を行い、それを通じて、1、2年生からのインターンシップ促進を図る。 ・キャリアガイダンスについては、学事日程の関係から実施時期や各メニューの実施回数を変更したことから参加者が減少した可能性がある。対策として、学事日程との調整を十分に図りながら、キャリア支援を実施していく。 		

	<p>〔岩手大学〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、東北地区連携インターンシップ（岩手県立大学が主導）を実施。連携大学内でツールを共有。 ・ジョブシャドウ（1日職場観察）を実施。のべ42名が24事業所を訪問。 ・キャリアガイダンス64回実施・学生2,794名参加、キャリアカフェ3回実施・学生221名参加。 ・市町村との共催による県内事業所バスツアーを自治体（5市）との連携により実施・学生93名参加。 ・岩手県立大学とキャリア教育科目「地場産業・企業論」を共催で開講。履修者8名。 ・キャリア教育科目「キャリアを考える」等を開講。履修者141名。 	<p>〔岩手大学〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、東北地区連携インターンシップ（岩手県立大学が主導）を実施。連携大学内でツールを共有。 ・インターンシップ参加者はのべ352名。 ・キャリアガイダンス83回実施。学生3,784名参加 ・市町村との共催による県内事業所バスツアーを自治体（6市）との連携により実施。学生・教職員111名参加。 ・岩手県立大学とキャリア教育科目「地場産業・企業論」を共催で開講。履修者2名。 ・キャリア教育科目「キャリアを考える」等を開講。履修者451名。 	<p>〔岩手大学〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、東北地区連携インターンシップ（岩手県立大学が主導）を実施。連携大学内でツールを共有。 ・インターンシップ参加者はのべ372名。 ・キャリアガイダンス74回実施。学生1,859名参加 ・市町村との共催による県内事業所バスツアーを自治体（6市）との連携により実施。学生・教職員96名参加。 ・岩手県立大学とキャリア教育科目「地場産業・企業論」を共催で開講。履修者7名。 ・キャリア教育科目「キャリアを考える」等を開講。履修者388名。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアガイダンス参加者1,925減について原因は不明。平成30年度は全てのガイダンスが16:30からの開講だったため、2019年度は開講時刻を14:55から及び16:50からの2パターンを用意した。 ・県内事業所バスツアー参加者15名減について原因は不明。早めの広報開始を目指し、準備を進めている（平成30年度は6月中旬の広報開始。2019年度は開催日程は4月9日から広報開始済）。 		
③ 企業実習付きの日本版デュアル・システム訓練の実施〔県〕	32コース 定員470名 受講者364名 修了者313名 就職率84.7%	27コース 定員381名 受講者279名 修了者230名 就職率87.9% (H30.4.30現在)	24コース 定員342名 受講者217名(うち女性173名) 修了者192名 就職率85.6% (H31.4.12現在)	国から示される計画数が減少したこと等により訓練コース数が減少したこと等による。		
④ 地域若者サポートステーション事業による支援〔国、関係市〕	<ul style="list-style-type: none"> ・就職者数 121人 うち盛岡 67人 うち一関 54人 ・新規登録者数 176人 うち盛岡 115人 うち一関 61人 	<p>29年度より、盛岡と一関に加えて宮古にも拠点を設置し、全県域を支援対象とした。</p> <p>(H30年2月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職者数 90人 うち盛岡 31人 うち宮古 6人 うち一関 53人 ・新規登録者数 214人 うち盛岡 114人 うち宮古 21人 うち一関 79人 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職者数 79人 うち盛岡 33人 うち宮古 18人 うち一関 28人 ・新規登録者数 277人 うち盛岡 177人 うち宮古 31人 うち一関 69人 	一関において、29年度と比較し、ハローワークからの紹介者が減少したことにより、就職者及び新規登録者が減少。（ハローワークへの来所人数も減少していたとのこと）		
⑤ 学卒未就職者に対するジョブサポーターによる支援〔国〕	<p>(国) ジョブサポーターによる支援 (H29.3月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置人員 21人 ・就職者数 3,218人 	<p>(国) ジョブサポーターによる支援 (H30年3月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置人員 19人 ・就職者数 3,060人 (対前年度比▲4.9%) ・相談件数 9,939件 (対前年度比▲17.5%) <p>(参考) H29年度新卒応援ハローワークの状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規求職者数（新卒及び既卒者） 1,387人 (対前年比▲8.7%) 	<p>(国) ジョブサポーターによる支援 (H31年3月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置人員 19人 ・就職者数 2,813人 (対前年度比▲8.1%) ・相談件数 8,357件 (対前年度比▲15.9%) <p>(参考) H30年度新卒応援ハローワークの状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規求職者数（新卒及び既卒者） 1,359人 (対前年比▲2.0%) 	求職者が減少する中、就職者数、相談件数ともに減少傾向が継続している。引き続き、各学校と連携しながら、個別支援等、丁寧な就職支援を実施する。		
⑥ ジョブカフェにおける就業支援〔県〕	<p>(H29.3月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブカフェいわて利用者数 45,188人 就職決定者数 2,098人 	<p>(H30.3月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブカフェいわて利用者数 54,701人 就職決定者数 2,052人 	<p>(H31.3月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブカフェいわて利用者数 61,916人 就職決定者数 2,026人 			
⑦ 就業支援員による就業支援〔県〕	<p>(H29.3月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問件数 2,354件 ・事業所訪問件数 2,550件 	<p>(H30.3月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問件数 2,503件 ・事業所訪問件数 3,206件 	<p>(H31.3月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問件数 2,754件 ・事業所訪問件数 4,000件 	学校訪問件数、事業所訪問件数ともに前年度を大きく上回った。		

(3) 中高年齢者の職業能力開発	① シニアワークプログラム地域事業の推進 [労働局] (29年度～「高齢者スキルアップ就職促進事業」)	・目標 280名 ・修了者数 278名 ・目標達成率 99.3%	(H30年3月末現在) ・目標 230名 ・修了者数 208名 ・目標達成率 90.4%	(H31年3月末現在) ・目標 242名 ・修了者数 203名 ・目標達成率 83.8%	求職者が減少傾向にある中、当年度は受託者が変更となり、周知活動が不十分であったと考えられる。 31年度においては、受託者に対して早めに各ハローワークを回って周知を行うよう指示している。	
	④ 障がい者の職業能力開発	① 障がい者の態様に応じた委託訓練の実施 [県] ② 関係機関との連携の強化 [県、ハローワーク、関係団体] ③ 岩手県障がい者技能競技大会の開催 [県、機構]	・定員39名 受講者数32名 就職率69.0% 平成25～27年度に実施したジョブコーチ養成研修を修了した者等に対するフォローアップ研修を4回実施 研修参加者 61名 7月10日(日)開催 8種目(1種目デモンストレーション)参加選手39名	受講者数 27名 就職率 54.2% 研修参加者 45人 7月9日(日)開催 8種目 参加選手43名	受講者数 17名 就職率 76.4% 研修参加者 40名 7月1日(日)開催 9種目 参加選手49名	他機関での訓練事業が活発になってきており、また、有効求人倍率が1倍を超える状況にあることから、県の訓練を経ずに就職する求職者が増えてきているため。 フォローアップ研修4回実施のほか、平成30年4月から引き上げとなった障がい者の法定雇用率に対応するため、就労支援機関職員のスキルアップを図るための研修を行い拡充している。 (当該スキルアップ研修の参加者人数は左記実績に計上していない。23人参加(23人は当該H25-27ジョブコーチ養成研修修了者)
	(5) 非正規雇用労働者の職業能力開発	① 岩手県地域職業訓練実施計画に基づく求職者支援訓練の実施 [労働局] ② 求職者支援訓練実施機関の開拓、申請の認定、訓練の指導 [機構] ③ 一貫した個別の就職支援 [ハローワーク]	第1回岩手県地域訓練協議会(10/28) ・平成27・28年度公的職業訓練(求職者支援訓練含む。)に係る状況説明 ・平成29年度岩手県地域職業訓練実施計画の策定方針について承認 第2回岩手県地域訓練協議会(2/27) ・平成29年度岩手県地域職業訓練実施計画について承認	第1回岩手県地域訓練協議会(10/30) ・平成28・29年度公的職業訓練(求職者支援訓練含む。)に係る状況説明 ・平成30年度岩手県地域職業訓練実施計画の策定方針について承認 第2回岩手県地域訓練協議会(2/20) ・平成30年度岩手県地域職業訓練実施計画について承認	第1回岩手県地域訓練協議会(11/2) ・平成29・30年度公的職業訓練(求職者支援訓練含む。)に係る状況説明 ・平成31年度岩手県地域職業訓練実施計画の策定方針について承認 第2回岩手県地域訓練協議会(2/28) ・平成31年度岩手県地域職業訓練実施計画について承認	

目標達成度：A-100%以上、B-80%以上100%未満、C-80%未満

【目標】項目	H32年度 (計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	達成度
離職者等を対象とした職業訓練における女性の受講者数	1,100人	1,010人	895人	865人			C
障がい者委託訓練受講者数	37人	32人	27人	17人			C
離職者等再就職訓練等の就職率(県委託訓練分)	75.0%	78.3%	79.8%	77.0% (令和元年5月31日現在)			A

3 産業界のニーズや地域の創意工夫を活かした人材育成の推進		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度	平成30年度実績が平成29年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	令和元年度	令和2年度
(1) 被災地域の産業の復興の完遂とその先の更なる展開に向けた職業訓練の実施	① 建設機械オペレーター養成等建設関連分野の職業訓練の実施【県】	・車両系建設機械等の操作技能習得(特別訓練コース):宮古、釜石、盛岡、二戸、久慈、一関 6地区 8コース 98名受講 ・宅建スキル養成科:盛岡地区 1コース 20名受講	・建設人材育成コース:盛岡、宮古、釜石、二戸 4地区 4コース 46名受講 ・宅建スキル養成科:盛岡地区 1コース 20名受講	・建設人材育成コース:盛岡、釜石、宮古、二戸 4地区 5コース ・宅建スキル養成科:盛岡地区 1コース 20名受講(うち女性10名)	求職者の減少に合わせ、入所数が低迷している科の定員を減じる。「住宅建築施工科」を各回定員10名、延定員40名		
	② 岩手職業能力開発促進センターにおける離職者訓練の実施【機構】	・遠野実習場で「住宅建築施工科」を6、9、12、3月に開講 各回定員15名、延定員60名 ・花巻実習場で「建築CAD施工科」を4、7、10、1月に開講 各回定員15名、延定員60名 合計 延定員120名	・遠野実習場で「住宅建築施工科」を6、9、12、3月に開講 各回定員15名、延定員60名 ・花巻実習場で「建築CAD施工科」を4、7、10、1月に開講 各回定員15名、延定員60名 合計 延定員120名	・遠野実習場で「住宅建築施工科」を6、9、12、3月に開講 各回定員12名、延定員48名 ・花巻実習場で「建築CAD施工科」を4、7、10、1月に開講 各回定員15名、延定員60名 合計 延定員120名			
(2) ものづくり分野の人材育成	① 地域ものづくりネットワークと連携した人材育成【県】	・コーディネーターの配置 5名 ・工業高校教員を対象とした研修の実施 ・企業講師を工業高校等に派遣して行う技能検定講習会を実施(資格取得者:529名)	・コーディネーターの配置 5名 ・工業高校教員を対象とした研修の実施 ・企業講師を工業高校等に派遣して行う技能検定講習会を実施(資格取得者:521名)	・コーディネーターの配置 5名 ・工業高校教員を対象とした研修の実施 ・企業講師を工業高校等に派遣して行う技能検定講習会を実施(資格取得者:403名)			
	② 県立職業能力開発施設の運営の適時適切な見直し【県】	・再編整備検討委員会:6月 ・再編整備の方向性の決定:2月	・再編整備検討委員会:1月	・再編整備検討委員会:2月			
(3) 需要や成長が見込まれる分野の人材育成	① 医療・福祉分野、IT関連分野、介護分野及び観光分野における離職者等再就職訓練(委託訓練)の実施【県】	・医療・福祉分野、IT関連分野、介護分野及び観光分野の訓練の受講者数・就職率 受講者429名 修了者399名 就職率83.3%	・医療・福祉分野、IT関連分野、介護分野及び観光分野の訓練の受講者数・就職率 受講者380名 修了者190名 就職率81.3%	・医療・福祉分野、IT関連分野、介護分野及び観光分野の訓練の受講者数・就職率 受講者332名(うち女性245名) 修了者272名 就職率89.3%(H31.4.19現在)			

目標達成度: A-100%以上、B-80%以上100%未満、C-80%未満

【目標】項目	H32年度(計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	達成度
需要が見込まれる分野(介護系、情報系及び観光分野)の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率	460人	429人	380人	332人			C
	80.0%	81.2%	84.0%	89.3%			A

4 人材の最適配置を実現するための労働市場インフラの戦略的展開	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度	平成30年度実績が平成29年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	令和元年度	令和2年度	
(1) 中長期の人材ニーズを踏まえた育成戦略及び産業界や地域のニーズを踏まえた公的職業訓練の実施	① 求職者支援訓練の実施 [労働局]	訓練計画定員1,120人 ・実施定員1,010人(73コース)を認定	・訓練計画定員860人 ・実施定員913人(67コース)を認定(認定率106.2%) ・受講者数456人	・訓練計画定員650人 ・実施定員765人(67コース)を認定(認定率117.7%) ・受講者数352人	雇用環境の改善により求職者が減少傾向にあり、本省査定による定員規模も縮小となった。		
	② 「民間教育訓練機関における職業訓練サービスガイドライン」の普及促進	・求職者支援訓練実施機関へのメール、HPによる受講勧奨 ・職業訓練サービスガイドライン研修を1回開催 受講者 7人 ・当該研修の修了を求職者支援訓練認定申請の選定の加点要素に追加 ・委託訓練受託予定事業者を対象とした説明会において周知 ・委託訓練受託事業者選定に当たって、上記研修を受講した職員がいる事業者に対する加点要素とする。	・求職者支援訓練実施機関へのメール、HPによる受講勧奨 ・職業訓練サービスガイドライン研修を1回開催 受講者 29人 ・当該研修の修了を求職者支援訓練認定申請の選定の加点要素に追加 ・委託訓練受託予定事業者を対象とした説明会において周知 ・委託訓練受託事業者選定に当たって、上記研修を受講した職員がいる事業者に対する加点要素とする。	・求職者支援訓練実施機関へのメール、HPによる受講勧奨 ・職業訓練サービスガイドライン研修を1回開催 受講者18人、聴講者3人 ・当該研修の修了を求職者支援訓練認定申請の選定の加点要素に追加 ・委託訓練受託予定事業者を対象とした説明会において周知 ・委託訓練受託事業者選定に当たって、上記研修を受講した職員がいる事業者に対する加点要素とする。	/		
	③ 離職者等再就職訓練(委託訓練)の訓練推進体制の継続 [県]	・産業技術短期大学校、同水沢校、宮古高等技術専門学校及び二戸高等技術専門学校による4広域で実施した。	・産業技術短期大学校、同水沢校、宮古高等技術専門学校及び二戸高等技術専門学校による4広域で実施した。	・産業技術短期大学校、同水沢校、宮古高等技術専門学校及び二戸高等技術専門学校による4広域で実施した。			
	④ ポリテクセンター岩手における離職者訓練(施設内訓練)の実施 [機構]	・電気設備技術科 60名定員 ・生産設備科 32名定員 ・金属加工科 60名定員 等 H28定員数 延437名	・電気設備技術科 60名定員 ・生産設備科 32名定員 ・金属加工科 60名定員 等 H29定員数 延452名	・電気設備技術科 60名定員 ・生産設備科 32名定員 ・金属加工科 60名定員 等 H30定員数 延434名			
(2) 技能検定及び職業能力評価制度の普及	① 技能検定制度の普及、受検勧奨 [県、職業能力開発協会]	・合格者数1,154名(うち高校生321名)	・合格者数1,221名(うち高校生421名)	・合格者数1,231名(うち高校生437名)(うち女性95名)			
	② 職業能力評価基準の整備等及び普及・活用促進 [国]	・職業能力評価基準の整備状況：54業種	・職業能力評価基準の整備状況：59業種	・職業能力評価基準の整備状況：64業種			
	③ 岩手県技能評価認定制度の普及 [県]	いわて機械時計士技能評価 ・受検者33名、合格者9名 いわて遠野かやぶき士技能評価 ・未実施(受験該当者がいない為)	いわて機械時計士技能評価 ・受検者30名、合格者6名 いわて遠野かやぶき士技能評価 ・未実施(受験該当者がいない為)	いわて機械時計士技能評価 ・受検者31名、合格者9名 いわて遠野かやぶき士技能評価 ・未実施(受験該当者がいない為)			
	④ ジュニアマイスター顕彰制度の普及 [(公社)全国工業高等学校長協会]	・認定者数 285名 ・認定内容 ゴールド 90名 シルバー 195名	・認定者数 361名 ・認定内容 ゴールド 178名 シルバー 183名	・認定者数 435名 ・認定内容 ゴールド 138名 シルバー 164名 ブロンズ 133名			
(3) ジョブ・カード制度の活用促進	① ジョブ・カード制度岩手県地域推進計画(平成27年10月2日改訂)に基づいた中期的ジョブ・カード制度の効果的な普及 [労働局]	第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議(10/28)にて、新ジョブ・カード制度に係る岩手県地域推進計画について協議	第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議(10/30)にて、新ジョブ・カード制度に係る岩手県地域推進計画について協議	第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議(11/2)にて、新ジョブ・カード制度に係る岩手県地域推進計画について協議	/		
(4) 企業における人材育成投資の促進	① 認定職業訓練の効果的な活用の推進 [県] [再掲]	・長期訓練修了161名 ・短期訓練修了1,982名	・長期訓練修了138名 ・短期訓練修了1,979名	・長期訓練修了118名 ・短期訓練修了2,099名			

(5) 関係機関の連携による職業訓練の推進	① 岩手県地域ジョブ・カード運営本部における効果的な周知・啓発のあり方の検討及び関係機関を通じた積極的な周知 [労働局]	・第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議(10/28)	・第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議(10/30)	・第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議(11/2)			
	② 岩手県地域訓練協議会による推進体制の強化 [労働局]	第1回岩手県地域訓練協議会(10/28) 第2回岩手県地域訓練協議会(2/27)	第1回岩手県地域訓練協議会(10/30) 第2回岩手県地域訓練協議会(2/20)	・第1回岩手県地域訓練協議会(11/2) ・第2回岩手県地域訓練協議会(2/28)			

目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満

【目標】項目	H32年度 (計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	達成度
在職者訓練の修了者数(県実施分)	2,300人	1,810人	1,933人	1,920人			B
技能検定受検者数	2,000人	2,034人	2,099人	2,147人			A
技能検定受検合格者数(延べ数) (年間合格者数)	累計値:60,917人 目標値(1,236人/年)	55,891人 (1,154人)	57,112人 (1,221人)	58,343人 (1,231人)			B

5 技能の振興		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度	平成30年度実績が平成29年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	令和元年度	令和2年度
(1) 技能の継承・発展	① 技能五輪全国大会、若年者ものづくり競技大会への参加促進 [県、職業能力開発協会]	<ul style="list-style-type: none"> 技能五輪全国大会 10月21日～24日（山形県） 12職種33名が出場 9職種15名が入賞 （銀賞2、銅賞6、敢闘賞7） 若年者ものづくり競技大会 8月7日～9日（栃木、沖縄県） 9職種16名が出場 6種目9名が入賞 （銅賞5、敢闘賞4） 	<ul style="list-style-type: none"> 技能五輪全国大会 11月24日～27日（栃木県） 14職種32名が出場 7職種13名が入賞 （金賞1名、銀賞4名、銅賞1名、敢闘賞7名） 若年者ものづくり競技大会 8月3日～4日（愛知県） 9職種24名が出場 ※過去最多出場 5種目10名が入賞 （銀賞2、銅賞2、敢闘賞6） （県選手団に 全国技能士会連合会会長賞） 	<ul style="list-style-type: none"> 技能五輪全国大会 11月2日～5日（沖縄） 10種目26名（うち女性11名）出場 6種目14名（うち女性8名）入賞 （金賞2名、銀賞2名、銅賞1名、敢闘賞9名） 若年者ものづくり競技大会 8月1日～2日（石川県） 9種目21名が出場（うち女性4名） 6種目12名が入賞（うち女性3名） （金賞1、銀賞1、銅賞3、敢闘賞7） （県選手団に全国技能士会連合会会長賞） 			
(2) 技能尊重 気運の醸成	① 岩手県卓越技能者表彰の実施 [県]	<ul style="list-style-type: none"> 卓越技能者9名 青年卓越技能者8名 	<ul style="list-style-type: none"> 卓越技能者9名 青年卓越技能者10名 	<ul style="list-style-type: none"> 卓越技能者6名 青年卓越技能者9名 			

目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満

【目標】項目	H32年度 (計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	達成度
技能五輪全国大会の出場者数、入賞率	37人	33人	32人	26人			C
	18.0%	45.5%	40.6%	53.8%			A

6 職業訓練のインフラの充実		平成28年度	平成29年度実績	平成30年度	平成30年度実績が平成29年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	令和元年度	令和2年度
(1) 県立職業能力開発施設	① 学科・定員の必要に応じた見直しの検討 [県]	学科構成：変更なし 定員：変更なし 再編整備検討委員会：6月 (短期的な方向性は現状維持であるが、中長期的な方向性は社会情勢の変化や産業界のニーズ等に対応できるよう、毎年検討を続けていく。)	学科構成：変更なし 定員：変更なし 再編整備検討委員会：1月 (短期的な方向性は現状維持であるが、中長期的な方向性は社会情勢の変化や産業界のニーズ等に対応できるよう、毎年検討を続けていく。)	学科構成：変更なし 定員：変更なし 再編整備検討委員会：2月 (短期的な方向性は現状維持であるが、中長期的な方向性は社会情勢の変化や産業界のニーズ等に対応できるよう、毎年検討を続けていく。)	/		
	② カリキュラムの充実 [県]	・再編整備検討委員会で方向性を検討 ・カリキュラム：大きな改正なし(シラバスは年1回見直し、修正している。)	・カリキュラム：大きな改正なし(シラバスは年1回見直し、修正している。)	・カリキュラム：大きな改正なし(シラバスは年1回見直し、修正している。) ・産業技術短期大学校にAI・IoT等先端技術検討ワーキンググループが設置された。(7月)			
	③ 在職者訓練の充実 [県]	・二戸地区における在職者訓練の開始	・二戸地区における在職者訓練の継続及び普及	・二戸地区における在職者訓練の継続及び普及			
(2) 国の職業能力開発施設	① ものづくり分野の人材育成のための訓練の実施 [機構]	・電気設備技術科 60名定員 ・生産設備科 32名定員 ・金属加工科 60名定員 等 H28定員数 延437名	・電気設備技術科 60名定員 ・生産設備科 32名定員 ・金属加工科 60名定員 等 H29定員数 延452名	・電気設備技術科 60名定員 ・生産設備科 32名定員 ・金属加工科 60名定員 等 H30定員数 延434名	求職者の減少に合わせ、入所数が低迷している科の定員を減じる。 ・電気設備技術科 48名定員 ・生産設備科 24名定員 ・金属加工科 48名定員 H31定員数 延360名		
(3) 職業訓練法人等	① 認定職業訓練運営費補助による支援 [国、県]	・運営費補助 14団体 ・設備(訓練機器)整備費補助 4団体	・運営費補助 14団体 ・設備(訓練機器)整備費補助 4団体	・運営費補助 13団体 ・設備(訓練機器)整備費補助 6団体			

目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満

【目標】項目	H32年度(計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	達成度
県立職業能力開発施設における県内企業への就職率	67.0%	63.4% (84.3%)	61.9% (82.3%)	59.8% (79.9%)			B

※ () 内は、県内に事業所があり、配属先を県内事業所としている企業へ就職した場合の就職率を参考数値として記載したもの。